



きぬこかい新聞

発行
国土交通省
下館河川事務所
きぬこかい情報発信局

〒308-0841
茨城県筑西市二木成1753
Tel. 0296-25-2161
HPアドレス
<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/>



小貝川における洪水予報・水防警報の基準水位の洪水実績を踏まえた見直しについて

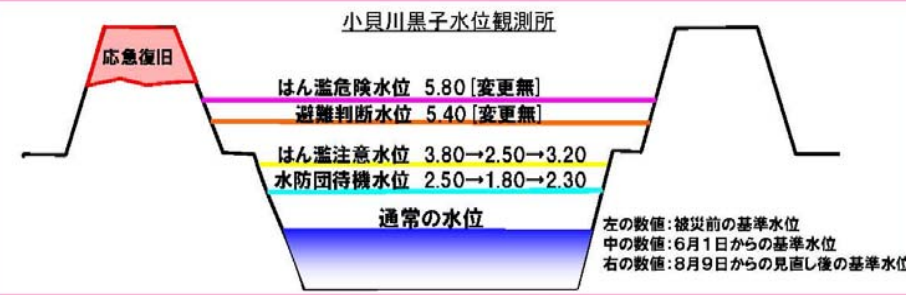
大雨等による小貝川の増水時には、下館河川事務所、水戸地方気象台及び宇都宮地方気象台が共同で「洪水予報」を発表するとともに、下館河川事務所が「水防警報」を発表しています。

これらの発表の基準として、「はん濫危険水位」や「水防団待機水位」などを設定していますが、東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）により多くの堤防が被災したため、緊急的に復旧工事等を実施したものの、六月一日からは、基準水位を低く設定し、早めに洪水予報・水防警報を発表することとしてきたところでした。

こうした中、小貝川の黒子水位観測所においては、六月一日以降、「はん濫注意水位」を上回る増水が三回発生し、そのたびに河川巡視や水防団による見廻り等を行いました。堤防の変状、漏水等の異常は一切発見されませんでした。

このため、黒子水位観測所の基準水位について、八月九日から、左記の通り見直しをしました。

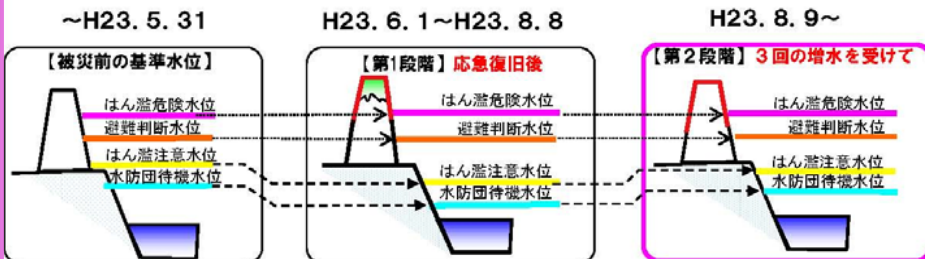
基準水位 8月9日からの見直しについて



【基準水位の種類】

- はん濫危険水位：浸水被害の恐れのある水位
- 避難判断水位：はん濫危険水位から避難に必要な時間を差し引いた水位。避難勧告等の判断の目安
- はん濫注意水位：水防団出動の目安。また、出水時の河川管理巡視出動の目安
- 水防団待機水位：水防団や河川管理巡視を準備する目安

「はん濫注意水位」：2.50mから3.20mへ引き上げ（被災前は3.80m）
 「水防団待機水位」：1.80mから2.30mへ引き上げ（被災前は2.50m）



河川巡視状況(7.28豪雨)

河川巡視状況(台風6号)

報雨急おし影今
に量や合にりや響後
に注水も河ますすいによるも、
意水も川水す大節大雨の発
して位ありが雨時となつて生
てく防す上昇には、
だ災のすのすは、
さい情です

(携帯サイト川の情報板<http://i.river.go.jp/>もご活用下さい。)

平成23年度 小貝川 黒子水位観測所 出水時河川巡視報告

出水名	最高水位(m)	状況報告	はん濫注意水位超過時間
台風2号	2.64	異常なし	約6時間
6.14豪雨	2.05	(河川監視対象外水位)	超過なし
台風6号	3.48	異常なし	約20時間
7.28豪雨	3.18	異常なし	約42時間

水生生物調査実施!

今年も下館河川事務所では、管内の鬼怒川・小貝川で「水生生物調査」を行いました。「水生生物調査」は、河川に生息する水生生物が水質汚濁の影響を反映しており、それを指標として概略の水質を判定できる調査で、一般の方にも分かりやすく、高価な器材等を必要としないことから誰でも簡単に調査できるという利点があります。



宇都宮市喜楽橋付近



親子で指標生物の確認中

参加者の皆さんは、川岸等の水の浅いところで、ピンセット、網等で水生昆虫などを採取し、水質判定の指標となる生物について、その種類及び数を調べ集計し、河川の水質(きれいさ)を判定しました。また、簡易的な水質分析(パックテスト)も行いました。この調査を通じて自然と身近に接することにより、環境問題への関心を高め「きれいな水」を維持していくためのよい機会となったことと思います。

鬼怒川 関東一の清流に

国土交通省発表の、国が管理する全国一級河川百六十五河川の平成二十二年水質ランキングで、関東地方整備局管内の十八河川の中で、鬼怒川が一位となり「関東一の清流」となりました。久慈川、神通川も同率一位で全国の順位では、五十位になります。

（◎調査は、水質を表す代表的な指標の生物化学的酸素要求量(BOD)の年間平均値を比較し、対象は距離が10km以上で調査地点が二箇所以上の河川）

また、今回の発表では、従来のBODなどの指標と異なり、ゴミの量や水のおいしさなど、人と河川のふれあいに關する新しい指標を用いて、住民との協働により、河川に近づきやすい地点で調査を実施「泳ぎたいと思うきれいな川」の評価もされています。せっかくの清流が心ないゴミの投棄により評価が下がっている地点が見受けられます。(詳しい情報は、国土交通省のホームページをご覧ください)

河川巡視確認・ゴミ不法投棄 平成二十二年 四三四件

鬼怒川・小貝川では、河川パトロールにより日々河川巡視を実施しています。その中で確認される不法投棄ゴミ件数は増加傾向にあります。心ない人達のゴミの不法投棄によって、鬼怒川・小貝川が汚れた川になりつつあります。

みなさんの協力が必要です。

鬼怒川・小貝川をきれいな川に戻すには、みなさんの協力が必要です。

平成22年度 茨城県河川巡視不法投棄確認件数

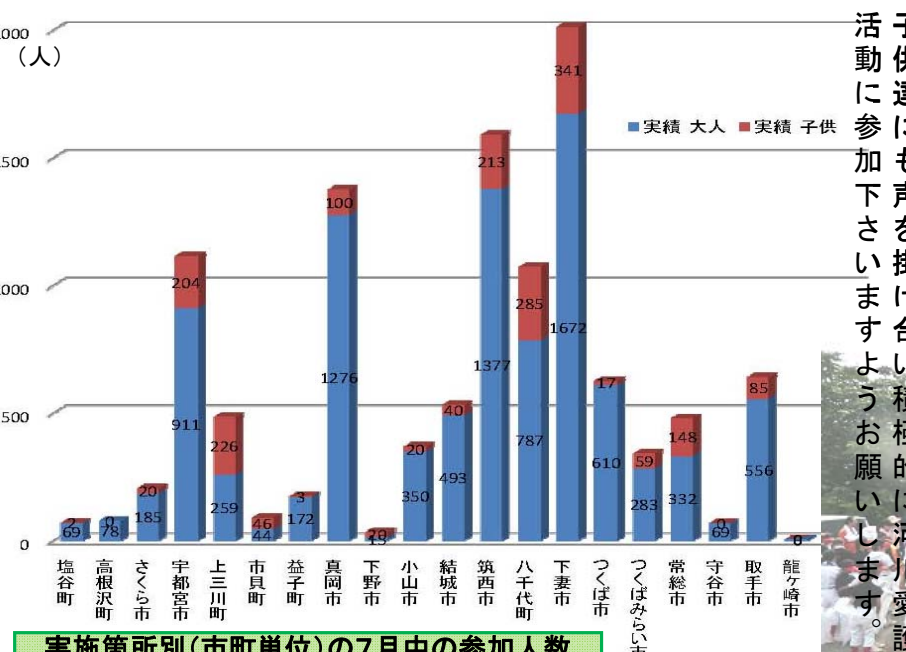
市町村	家庭ゴミ	粗大ゴミ他	廃車機械ゴミ
取手市	10	10	10
つくばみらい市	20	20	20
常陸市	30	30	30
つくば市	40	40	40
下妻市	50	50	50
筑西市	60	60	60
守谷市	70	70	70
八千代町	80	80	80
龍ケ崎市	90	90	90

平成22年度 栃木県河川巡視不法投棄確認件数

市町村	家庭ゴミ	粗大ゴミ他	廃車機械ゴミ
芳賀市	10	10	10
益子町	20	20	20
真岡市	30	30	30
小山市	40	40	40
下野市	50	50	50
上三川町	60	60	60
宇都宮市	70	70	70
高根沢町	80	80	80
さくら市	90	90	90
塩谷町	100	100	100

下館河川事務所管内 河川巡視確認件数 (平成18~22年度)

年度	確認件数
平成18年度	1202
平成19年度	1191
平成20年度	1151
平成21年度	1241
平成22年度	1434



「鬼怒川小貝川クリーン大作戦」は、流域全体の良好な河川環境の保全・再生を積極的に進めるとともに河川愛護の意識が広く醸成されるように流域の皆様と共に河川の一斉清掃を実施するもので今年で二十一回目の開催となりました。

七月九日の統一日には、地元住民の方や自治体等とあわせて約八千五百四十人が参加し約二百五十一mのゴミを拾いました。皆様御協力ありがとうございました。

また、今年も野球チームや子供会など子供達も参加し清掃活動をされました。未来を担う子供達の参加は今後の河川愛護活動にとっても重要です。皆さん、ぜひこれからも子供達にも声を掛け合い積極的に河川愛護活動に参加下さいますようお願いいたします。

流域各地の皆さんの参加で今年も、鬼怒川・小貝川クリーン大作戦が実施されました